

令和 4年度予算見積調書

課室名：農村整備課
 担当名：農村環境担当
 内線：4348

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B107	水辺周辺活用事業(農業用水)			一般会計	農林水産業費	農地費	土地改良費	水辺周辺活用事業費		
事業期間	令和 3年度～	根拠法令				針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	2, 6, 11
	令和 7年度						分野施策	1002	恵み豊かな川との共生	SDGsターゲット
1 事業概要				5 事業説明						
平成20年から進めている川の再生の取組により、川が地域の資産として認識された。そこで、更なる水辺空間の利活用を推進するため、地方創生を図る市町村と連携し水辺拠点の整備、水辺再生箇所の整備を行う。 (1) 事業費 484,000千円 (2) 事務費 4,560千円				(1) 事業内容 環境護岸や遊歩道等の整備、事業主体(市町村)への補助金 (2) 事業計画 ア 目標 水辺空間の整備・拡充を通じ、川の魅力を向上させるとともに、市町村主体の地域振興との連携を図り、更なる川の利活用を促進する。 イ 事業計画 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 5地区 6地区 6地区 5地区 5地区 (3) 事業効果 県民ムーブメントとなった「川の再生」の機運を絶やさぬよう川の利活用を推進することにより、名実ともに「川の国埼玉」を実現する。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 地元自治体や地域活動団体、施設管理者等、地元市町村とともに整備計画や維持管理、利活用について検討。						
2 事業主体及び負担区分										
事業主体：県、市町村 負担区分：工事費(県10/10)、(県5/10)市町村5/10、 (県7.5/10、市町村・改良区2.5/10) 事務費(県10/10)、(県7.5/10、市町村・改良区2.5/10)										
3 地方財政措置の状況										
地域活性化事業債90%										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員										
9,500千円×1人=9,500千円										
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比	
		分担金・負担金	県債							
決定額	488,560	67,962	420,000					598	△20,233	
前年額	508,793	85,868	422,000					925		